

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

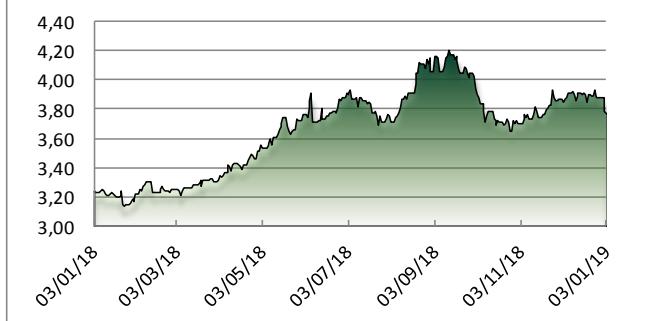
米中貿易摩擦や米政府機関閉鎖、(中国を中心とした)景気後退懸念、アップルショックを契機として年初からグローバルにリスクオフの風が吹き荒れているが、レアルは引き続き買い基調となっており、昨日のドルレアルスポット相場も3.75台後半で取引を終えている。ボベスパ指数も過去最高値水準である91000ポイント台を維持。世界的に株価が急落している他、アジア時間には一時円が対ドルで急騰するなど、マーケットで不安定な反応が散見されているが、日本では財務省・金融庁・日銀が3週連続となる3者会合を開催するなど、過度な値動きが今後も継続するようであれば、政府当局による牽制姿勢が強まる可能性も意識されている。また、中国では景気立て入れを目的に預金準備率が引き下げられた他、昨日公表された米雇用関連の指標も良好であったことから、米政府機関閉鎖を巡る共和・民主党の協議も進展すれば、リスクオフのセンチメントも改善すると期待されている(本日は12月米雇用統計の公表が予定されていることから、昨日の指標に続いて堅調な数字が示されれば、為替・株式いずれも買い戻されるとの見方が支配的)。一方、グローバルな趨勢とは独立して、ブラジルマーケットは好調なスタート。新興国マーケットの中でもその好調ぶりは際立っている。具体的な政策協議は2月1日の議会再開を待つ必要があるが、Bolsonaro新大統領、Guedes経済相から連日、改革進展を期待させる発言が続いていることが、資金流入を促進させている。なお、同大統領は昨日のインタビューで、年金法案の最低支給年齢について、「男性:62歳、女性:57歳」との見通しを語っている。

マーケットデータ

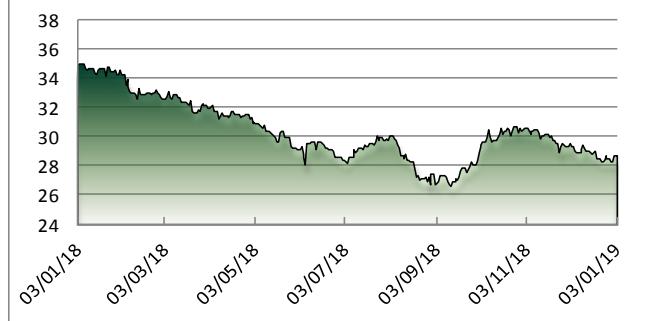
Indicator	Unit	1月2日	1月3日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値	
レアル	対ドル	BRL	3,7859	3,7594	-0,70%	-2,22%	3,1210	4,2146
	対円	JPY	28,73	28,66	-0,24%	-3,06%	35,13	26,39
	対ユーロ	BRL	4,2964	4,2820	-0,34%	-1,80%	3,8531	4,9213
円	対ドル	JPY	108,88	107,68	-1,10%	-5,26%	104,56	114,55
	対ユーロ	JPY	123,55	122,67	-0,71%	-4,93%	118,71	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	91.012	91.564	0,61%	1,94%	91.596	69.069	
CDS Brazil 5yrs	bps	205,70	203,23	-1,20%	-2,12%	311,85	142,50	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	9,19	9,16	-0,33%	-8,02%	12,60	9,16	
DI Future Jan20 (金利先物)	%	6,45	6,50	0,70%	1,42%	9,51	6,45	
3 Months US Dollar Libor	%	2,7970	2,8076	0,38%	2,05%	2,8238	1,6959	
CRB Index (国際商品指数)	Index	170,39	171,55	0,68%	-6,52%	206,95	168,21	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オンブスマネージャー連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部は無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。